

(全6枚中の1枚目)

②② 中学校・高等学校 英 語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の文の①～⑩にあてはまる語を、ア～タから選び、その記号を書きなさい。ただし、各記号は一度しか使えない。

(全6枚中の2枚目)

② 中学校・高等学校 英 語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

**2** 次の(1)～(5)の文について、( )に入るア～オを意味が通るように正しく並べかえ、2番目と4番目にくる記号を書きなさい。

(全6枚中の3枚目)

② 中学校・高等学校 英 語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

**3** 次の文の①～⑤にあてはまる文をあとのア～オから選び、その記号を書きなさい。ただし、各記号は一度しか使えない。

② 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

4 次の(1)、(2)の意見を読み、あなたの考えを理由も含めて70語以上100語以内の英語で書きなさい。また使用語数を所定の欄に算用数字で記入しなさい。ただし、符号は語数に含めない。

(1) 日本語で授業を行うことは、生徒が英語に触れるせっかくの機会を奪ってしまう。特に日本の場合、英語を話す環境がない。日本語のみで授業をしたり、ALTが話したことを通訳したりすれば、生徒は「生きた英語」に触れられなくなってしまふ。だから、授業を英語で進めることは大切である。

(2) 英語のみで授業を進めると、生徒が混乱したり、時には誤った解釈をしたまま進んでしまうことが懸念される。重要な点については確認する必要がある、そのためにも日本語を用いる場面は必要である。

5 授業で以下のようなハンドアウトを生徒に渡し、会話練習を行うとする。生徒に「下線部を自分なりに変える」、「AとBには適当な表現を入れる」という2つの指示をどのように与えるか、生徒への助言を含めて、英語で書きなさい。

Handout 1	June 18, 2009
Class (       ) Name (       )	
Conversation Practice 12	
《今日のダイアログ》	
S1 : I have been thinking about <u>my grandmother's</u> birthday.	
I don't know what present makes <u>her</u> happy.	
S2 : How about <u>giving her some flowers</u> ? (    A    )	
S1 : (    B    )	

②② 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(中学校受験者のみ解答すること)

6 次の文は、現行の中学校学習指導要領「外国語」の「各言語の目標及び内容等」の「英語」の「指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。①～⑩にあてはまる語句を下のあ～つから選び、その記号を書きなさい。

(2) 教材は、英語での実践的コミュニケーション能力を育成するため、実際の言語の使用場面や言語の(①)に十分配慮したものを取り上げるものとする。その際、英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗習慣、(②)、地理、歴史などに関するものの中から、生徒の心身の発達段階及び興味・関心に即して適切な(③)を変化をもたせて取り上げるものとし、次の観点に配慮する必要がある。

ア 多様なものの見方や考え方を理解し、(④)な判断力を養い豊かな(⑤)を育てるのに役立つこと。

イ 世界や(⑥)の生活や文化についての(⑦)を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを(⑧)する態度を育てるのに役立つこと。

ウ 広い視野から国際理解を深め、(⑨)に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、(⑩)の精神を養うのに役立つこと。

あ	世界	い	働き	う	文化	え	理解	お	心情
か	我が国	き	国際協調	く	知識	け	公正	こ	構造
さ	知性	し	題材	す	教材	せ	物語	そ	学習
た	国際社会	ち	国際人	つ	尊重				

② 中学校・高等学校 英語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(高等学校受験者のみ解答すること)

7 次の文は、現行の高等学校学習指導要領「外国語」の「各科目」の「ライティング」の「内容」及び「内容の取扱い」の一部である。①～⑩にあてはまる語句を下のあ～てから選び、その記号を書きなさい。

2 内容

(1) 言語活動

生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定して、次のようなコミュニケーション活動を行う。

ア 聞いたり読んだりした内容について、場面や(①)に応じて概要や(②)を書く。

イ 聞いたり読んだりした内容について、自分の考えなどを(③)して書く。

ウ 自分が伝えようとする内容を(③)して、場面や(①)に応じて、読み手に理解されるように書く。

(2) 言語活動の取扱い

ア 指導上の配慮事項

(1)に示すコミュニケーション活動を効果的に行うために、必要に応じて、次のような指導をするよう配慮するものとする。

(ア) 話されたり、読まれたりする文を(④)こと。

(イ) 考えや気持ちを伝えるのに必要な語句や表現を(⑤)すること。

(ウ) (⑥)の構成や(⑦)に留意しながら書くこと。

— 中略 —

3 内容の取扱い

(1) 聞くこと、話すこと及び読むことも有機的に関連付けた活動を行うことにより、書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。

(2) (⑧)の学習だけにとどめず、情報や考えを伝えるために書くなど、書く(①)を重視して指導するものとする。その際、より豊かな内容やより適切な(⑨)で書けるように、書く(⑩)も重視するよう配慮するものとする。

あ 文法	い 言語材料	う 整理	え 推敲	お 活用
か 文章	き 展開	く 内容	け 段落	こ 形式
さ 選択	し 書き取る	す 要点	せ 表現	そ 過程
た 結論	ち 語句	つ 目的	て 文字にする	